

ECOジョーズ

ガスふろ給湯器（屋外設置据置形）
＜自動タイプ＞

型式	製品名
KZ-S244SA	KZ-S244SA-1-BL
KZ-S204SA	KZ-S204SA-1-BL
KZ-S164SA	KZ-S164SA-1-BL

機器本体編

お客様サポートのご案内



ハウステックお客様サポート

お客様サポートの詳細内容は、
本書「アフターサービスについて」を
ご確認ください

保証書付

- このたびは、ハウステック製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書（保証書付）をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。
※リモコンに付属の取扱説明書と併せてお読みください。
※本品は一般家庭の給湯以外の目的（例えば業務用の使用・給湯以外の使用・車両・船舶への搭載）に使用しないでください。



SBB81PM

事前にご確認ください

ガスふろ給湯器に関する内容のみ記載しています

- リモコン操作については、リモコン操作編の取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。
- 別売品の取扱説明書がある場合は、そちらも併せてお読みください。

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

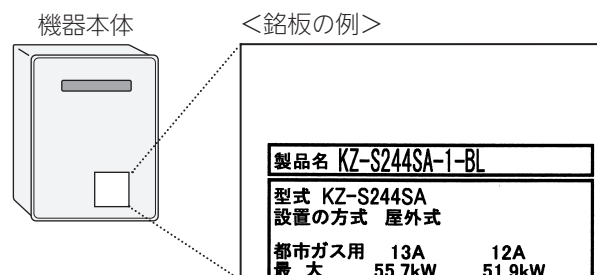
取扱説明書内の二次元コードについて

- 通信料金はおお客様のご負担となります。
- リンク先の内容は、予告なく変更・削除される場合があります。

製品名・製品タイプをご確認ください

製品名の確認のしかた

- 製品名は、機器に貼り付けてある銘板で確認できます。



お使いの製品の製品タイプは「自動タイプ」です

- 製品タイプによってしくみや操作が異なる部分があります。
リモコン操作編の取扱説明書をご覧になるときは、「自動タイプ」の項目をご覧ください。

もくじ

はじめに

事前にご確認ください	2
製品名・製品タイプをご確認ください	2
もくじ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4
各部のなまえとはたらき(機器本体)	8

使いかた

リモコンの使いかたについては、
別冊のリモコン操作編の取扱説明書
をご覧ください

必要なとき

凍結による破損を予防する	9
長期間使用しないとき(水抜きのみ)	10
水抜き後の再使用のとき	11
日常の点検・お手入れのみ	12
あんしん点検について	14

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	15
リモコンに3桁の英数字が 点滅しているとき<故障表示>	18

ご参考

主な仕様	20
アフターサービスについて	22
保証書	裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)

- リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。
- お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されます。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠危険 異常のあったとき



必ず守る

- ガス漏れに気づいたときは、
 - ① すぐに使用をやめる
 - ② ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
 - ③ お買い求めの販売店または、もよりのガス事業者に連絡する



火気禁止

- ガス漏れ時は、絶対に
 - ・ 火をつけない
 - ・ 電気器具(換気扇その他)のスイッチ「入」「切」をしない
 - ・ 電源プラグの抜き差しをしない
 - ・ 周辺の電話も使用しない火や火花で引火し、火災の原因になります。

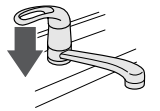
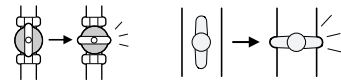


警告 異常のあったとき



必ず守る

- 地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う
 - ① 給湯栓を閉める
 - ② 運転スイッチを「切」にする
 - ③ ガス栓・給水元栓を閉める



- ④ 点火しない場合、または使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める
- ⑤ 使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな? と思ったら」(P15)、「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」(P18)に従い処置をする
- ④⑤の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店または、もよりのガス事業者に連絡する

お願い 雷・停電・断水などのとき



電源プラグを抜く

- 雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを「切」にする)



ぬれ手禁止

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み(またはブレーカーを「入」にし)、リモコンの時計をあわせてください。



感電注意

※冬期は、電源を長時間切っていると凍結のおそれがあります。※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

● 断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める
給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

● 断水復帰後の使いはじめのお湯は飲まない、調理に使用しない
断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

● 断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

● 停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあと(またはブレーカーを「切」にしたあと)は、リモコンの現在時刻を確認する
時計がリセットする場合があります。

● 停電すると、運転が停止します

お願い 積雪時・凍結予防・長期間使用しないとき

● 積雪時には給気口・排気口の点検、除雪をする
雪により給気口・排気口がふさがれると、機器の故障の原因になります。

●凍結による破損を予防する(P9～10)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

●長期間使用しない場合、必要な処置をする(P10)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。



警告 給湯・お風呂の使用時



高温注意

●シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用するやけど予防のため。

・60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性がありますので、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご連絡ください。

・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。

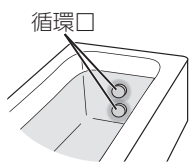
●浴そうの湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



●ふろ運転中は、循環口から熱いお湯が出るのでさわらない

やけど予防のため。



禁止

●シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされたりすると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

●浴そうのふたの上に乗ったり手をついたりしない
ふたが外れておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因になります。

●お湯の中にもぐったり、下部循環口のフィルターを外して使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、ケガをするおそれがあります。

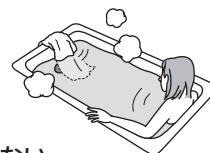
●子供を浴室内で遊ばせない、子供だけで入浴させない

やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。

お願い 給湯・お風呂の使用時

●浴そうの循環口をタオルなどでふさがない、穴に物を詰めない

お風呂沸かしができません。機器の故障の原因になります。



●硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

●バスソルトなど塩分の強いもの、乳白色(白濁)のものを使用するときは、保温や追いだきをしない
使用後はすぐに排水する

●入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させたり、ポンプの能力が低下する原因になるものがあります。

これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

●機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

●運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すとお湯交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。

シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

●使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。



警告 機器とその周辺の注意



禁止

●燃えやすい物を機器本体や排気口のまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

●灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口のまわりで使用しない
火災の原因になります。



機器本体

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

●機器本体やガスの配管、排気口などに乗ったりして、無理な力を加えない

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

●外壁の塗装や増改築、建物の修繕時などに機器本体(排気口)が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

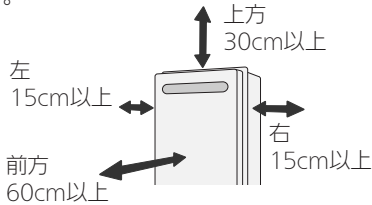
(つづく)

警告 機器とその周辺の注意(つづき)



- 燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)
火災予防のため。

必ず守る



- 【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていたら、除雪する
雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



注意 機器とその周辺の注意



- 使用中や使用後しばらくは、
排気口付近に触れない
やけど予防のため。

接触禁止



- 給気口、排気口に指や棒を入れない
ケガや故障の原因になります。

禁止

- 子供を機器の周囲、直下で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。

お願い 機器とその周辺の注意

- 機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

- 植物やペットなど、排気ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものを、排気口の周囲に置かない

- 排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

- 塀などを増設する場合は、点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(点検・修理に必要な空間については、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご確認ください)

注意 機器のメンテナンス



- 機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する
不完全燃焼の原因になります。

必ず守る

- 機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

お願い リモコン・その他のメンテナンス

- リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

- リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない

変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

- 浴そうの下部循環口のフィルターはこまめに掃除する
ポンプ故障の予防のため。

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除する

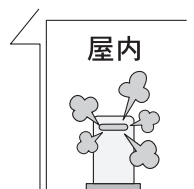
水中に含まれる微量の銅イオンと人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して浴そうや洗面台が青く着色することがあります。こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

危険 機器の設置や接続



- 屋内に設置しない
一酸化炭素中毒の原因になります。

禁止



警告 機器の設置や接続



- ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご依頼する
安全に使用していただくため。

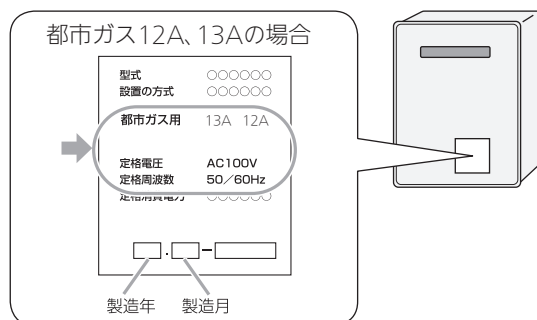
必ず守る

- 必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご相談ください。



必ず守る

●必ず銘板に表示のガス・電源で使用する

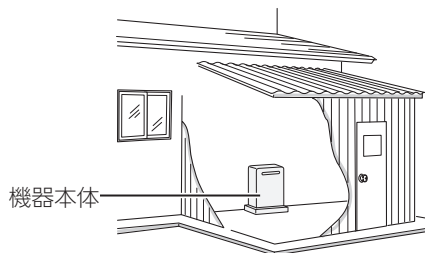
表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口ご連絡してください。



禁止

●増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをして)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

**●太陽熱温水器とは絶対に接続しない**

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

お願い 機器の設置や接続**●温泉水、井戸水、地下水で使わない**

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

警告 電源プラグ・電源コードの扱い

必ず守る

●電源プラグのホコリは定期的に取り

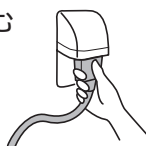
ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

**●電源プラグは根元まで確実に差し込む**

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



禁止

●傷んだ電源プラグ、緩んだ電源コンセントは使用しない

感電、発熱による火災の原因になります。

●電源コード、電源プラグを破損させない、加工しない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。感電、ショート、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

●電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



感電注意

警告 その他の注意

分解禁止

●お客様ご自身では絶対に分解・修理・改造はごこなない

一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。

注意 その他の注意

禁止

●給湯、シャワー、お風呂以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

●ドレン配管から排出される凝縮水を、飲料用・飼育用などに使用しない**●機器取り替えと乾電池に関するお願い**

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い その他の注意**●業務用の用途では使用しない**

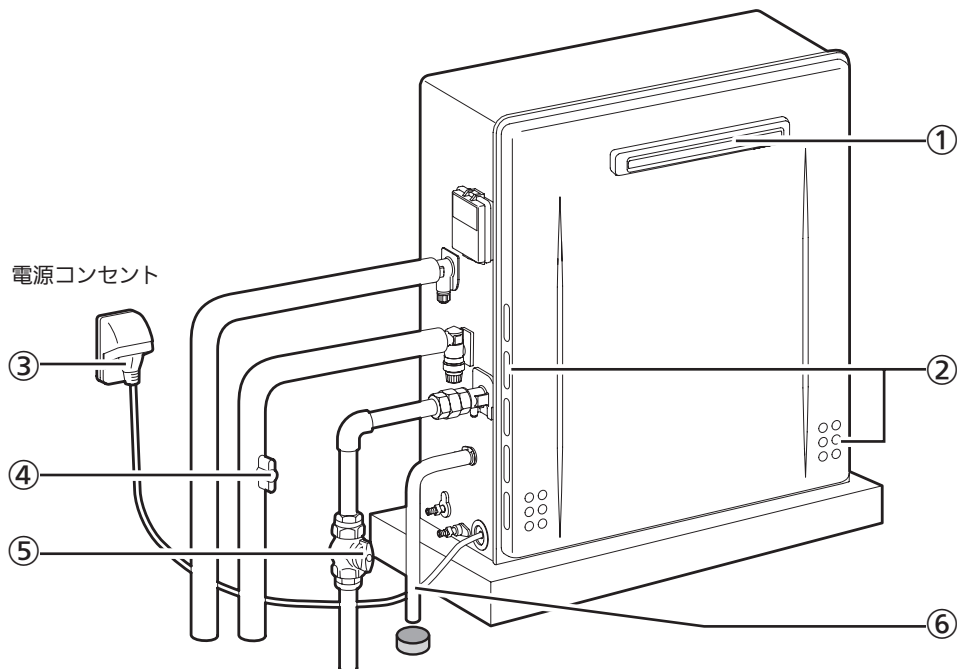
この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

●この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



- ① 排気口
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ③ 電源プラグ
- ④ 給水元栓
- ⑤ ガス栓
- ⑥ ドレン配管
機器の使用で発生する凝縮水を排水します。

● 浴そう

下部循環口
(フィルター付)

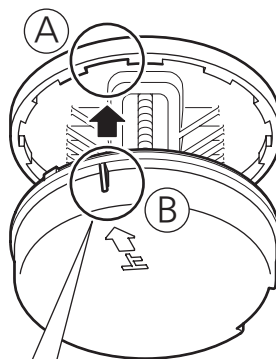
月に1度程度、
お手入れをして
ください。(P13)

上部循環口(湯止めキャップ付)

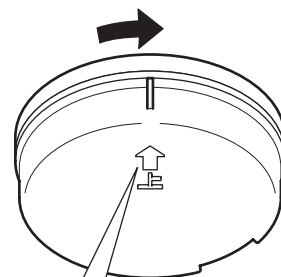
＜湯止めキャップが外れてしまったとき＞

1. ④の切り欠き位置と、⑥の突起の位置が合うように、キャップと循環口を重ねる

2. キャップを右へ少し回し、固定されたことを確認する



表面に記載の矢印付近にある突起です



表面に記載の矢印が真上になります

凍結による破損を予防する

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して機器が破損することがあります。破損事故を予防するために、下記をお読みいただき必要な対策をしてください。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

対策1

通常の寒さのとき



気温が下がってきたら自動検知。
凍結予防ヒーター + 浴そう水の循環で凍結予防する方法。

※配管や給水元栓などは予防できません。必ず保温カバーや電気ヒーターで予防してください。
(わからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口を確認してください)

こうしてください

- 浴そうの上部循環口の上まで、水か湯を残す
 - リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します。
(ポンプ運転はしますが燃焼はしません)
 - ポンプが回ると「ウーン」と音がし、リモコンに凍結予防運転中マークが点灯します。
 - 浴そうに水(お湯)がないとポンプが空運転し、大きな音がします。
- 電源プラグは差したまま(ブレーカーも「切」にしない)
※電源を切ると凍結予防ヒーターが作動しません。

<ポンプの運転音が気になるときの処置>

浴そうの水をすべて排水してください。凍結予防がはたらくと一度ポンプの運転音(ウーン)がしますが、その後は運転しません。(延長配管されている場合は、そのパイプの水が凍結して、すぐに使用できない場合があります。そのときは自然に解凍するまでお待ちください)

対策2

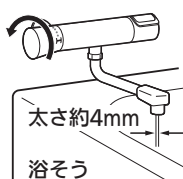
- 低温注意報が発表されたとき
- 外気温が極端に低いとき(-15℃以下)
- -15℃より高くても風があるとき



おふろの給湯栓から水を流し続ける方法。

こうしてください

- ①リモコンの運転スイッチを「切」にする
- ②おふろの給湯栓から水を流したままにする
 - 約30分後に、流れる量を確認する。
 - サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にしてください。(次に使うとき、忘れずに戻してください)



- 対策1も併せておこなう

機器の水抜き



- 対策1と2をしても凍結するおそれのあるとき
- 長期間使用しないとき

大寒波が到来しそうなときや、長期間使用しないときは、機器の水抜きをお願いします。

水抜きの方法は P10の手順でおこなってください

凍結したまま使うと故障の原因に!

凍結して、お湯や水が出なくなったら

- まずリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
(「切」にしないと燃焼する場合があります)
気温が上がって自然に解凍するまで待つことをおすすめします。水が出るようになったら、水漏れがないか確認します。
- すぐに使いたいときは、
 - ① リモコンの運転スイッチを「切」にする
 - ② 台所などの給湯栓を少し開ける
 - ③ 機器のガス栓を閉める
 - ④ 給水元栓が回るかどうか確認する

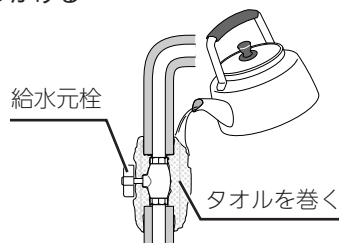
給水元栓は回るのに水が出ないときは

給水元栓以外の場所が凍っています。
給水元栓を閉め、自然解凍を待つか、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご連絡ください。

給水元栓が凍結して回せないときは

タオルなどの布を給水元栓のまわりに巻き、30℃~40℃程度のぬるま湯をゆっくりかける

- 必要に応じて、床面などがぬれないように処置をしてください。
- 熱湯をじかにかけると配管が破裂するおそれがあります。また、配管以外(電源プラグやコード、電源コンセント)にお湯がかからないように注意してください。
- ガス栓と間違えないように注意してください。



給水元栓が回るようになれば解凍できたので、台所などの給湯栓を閉めてください。

- タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取ってください。また、機器や配管から水漏れがないかよく確認してから使用してください。
- 今後凍結しないように、給水元栓まわりに保温材を巻くなどの処置をご検討ください。
(わからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご確認ください)

長期間使用しないとき(水抜きのしかた)

- 長期間使用しないときや、不在時に凍結のおそれのある場合は、以下の方法で機器の水抜きをしてください。

⚠️注意



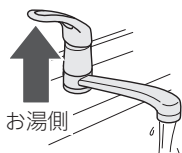
機器の水抜きをする場合、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

準備

水抜き栓などからお湯(水)が約2.5L出るので、排水を受ける容器を準備する

手順

- ① 機器のガス栓と給水元栓を閉める
(ガス栓と給水元栓の位置→P8)
② 浴そう内の水を完全に排水する
- ① リモコンで「機器の水抜き」の設定をする
 - リモコン操作編の取扱説明書の「ユーザー設定」をご覧ください。
 - 操作後1～2分たつと、リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ります。
 ② 浴そうの循環口から排水することを確認する
 - このあと、浴そうに水を流し込まない。
 - 水抜きの途中で電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にしたりしない。
 - 排水が始まったあとに水抜きを中止する場合は、運転スイッチを「入」にする。
3. 台所・洗面所・浴室など、家中のすべての給湯栓を全開にする



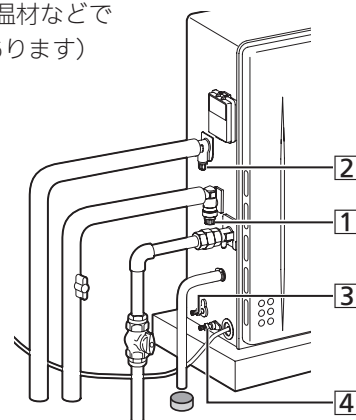
4. ※水抜き栓を開けると、勢いよく水が飛び散る可能性があります。
① 水抜き栓(フィルター付き)①を左に回して外す
② 過圧防止安全装置(水抜き栓)②を左に回して外す
5. 手順2の操作から2分以上経過後、水抜き栓③④を左に回して開け、約6分そのままにする
6. 機器の電源プラグを抜く **ぬれた手でさわらない**
7. すべての水抜き栓から水が出なくなったことを確認したら、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓を閉める

確実に閉まっていることを確認する

※閉まっていないと、再使用時に排気ガスが漏れる場合があります

水抜き栓の位置

(各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります)



水抜き栓 (フィルター付き)①	過圧防止 安全装置 (水抜き栓)②	水抜き栓③④

水抜き後の再使用のとき

手順

1. すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する
(水抜き栓の位置→P10)
2. 給水元栓を開ける
3. 家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する
4. ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む **ぬれた手でさわらない**
5. ポンプの呼び水をする
 - ① 浴室リモコンで運転スイッチを「入」にして、ふろ自動スイッチを「入」にする
 - ② 浴そうの循環口から水が出てくることを確認する
 - リモコンに「111」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、手順①よりやり直す。
 - ③ ふろ自動スイッチを「切」にする

日常の点検・お手入れのしかた

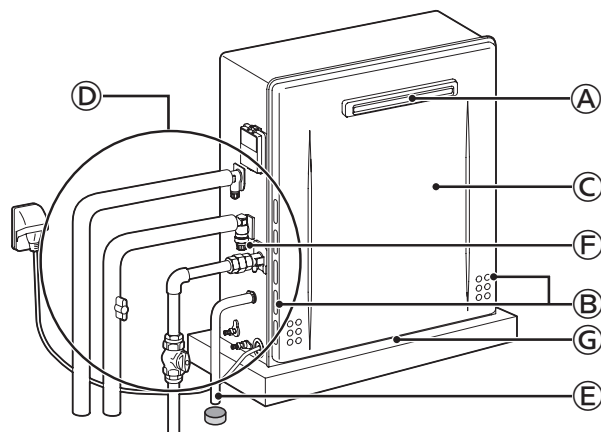
●点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠️注意



機器の点検・お手入れをする場合、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

必ずやる やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



点検

排気口にススがついていないか？ →**Ⓐ**

ついている場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口に連絡する。

点検

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】
カバーに雪が積もっていないか？ →**Ⓐ**

積もっている場合は、除雪する。

点検

排気口・給気口がホコリなどでふさがっていないか？
→**Ⓐ****Ⓑ**

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →**Ⓒ**

現象があった場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口に連絡する。

点検

- 機器から異常音が聞こえないか？
- 機器・配管から水漏れはないか？ →**Ⓓ**

現象があった場合は、「故障・異常かな？と思ったら」の「機器全般」(P17)を確認する。それでもなおおかしいときは、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口に連絡する。

点検

- ドレン配管の先にゴミ詰まりなどがないか？ →**Ⓔ**
- ドレン配管の先が水につかっているか？ →**Ⓕ**

ゴミなどは取り除く。ドレン配管の先が水につかっている場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口に連絡する。

点検

機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →**Ⓖ**

現象があった場合は、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口に連絡する。

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

お手入れ 外装の汚れ →**Ⓒ**

ぬれた布で落としたあと、充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

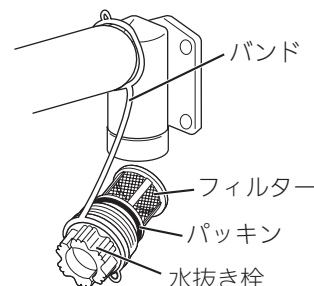
お手入れ おふろの配管

- ポンプで浴そうの水を循環させるため、湯あかはたまりにくくなっていますが、雑菌などが気になる場合は市販のふろがま洗剤(一つ穴用)をお試しください。(ふろがま洗剤の説明書に従って正しく洗浄してください)
※強制循環式のため、二つ穴用のふろがま洗剤は使用できません。
- ふろ配管クリーンによって配管内の残り湯を押し出すことができます。(リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください)

お手入れ 水抜き栓のフィルター →⑥

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から水(お湯)が出るので、排水を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓(P8)を閉める。
- ③台所・洗面所など、すべての給湯栓を開ける。
- ④水抜き栓を左に回して外す。
※水(お湯)が出るので注意してください。
※水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。
- ⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。
- ⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。
※水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。
- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

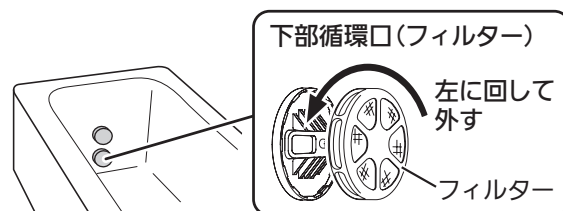


お手入れ 下部循環口のフィルター(月に1度くらい)

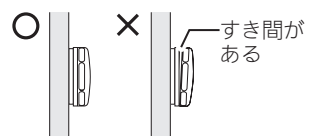
フィルターが詰まると、おふろの温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

※リモコンの運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

- ①浴そう内の下部循環口のフィルターを左に回して外す。
- ②フィルターを水洗いし、掃除する。
- ③フィルターを下部循環口に元どおり取り付ける。

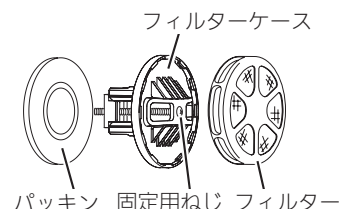


フィルターは、循環口との間にすき間ができないように取り付けてください。
フィルターを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあるため、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。



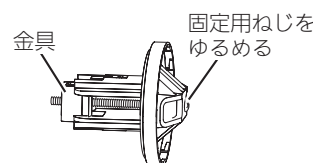
【フィルターとフィルターケースと一緒に回ってしまうとき】

- ①フィルターケース側に手を添えて、一緒に回らないようにしながらフィルターを左に回して外す。
- ②フィルターケースを下部循環口に奥まで差し込んだ状態で、フィルターケース中央にある固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口側が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
- ③フィルターを元どおり取り付ける。



【フィルターがフィルターケースごと下部循環口から外れてしまったとき】

- ※浴そうの排水栓は閉めておいてください。(固定用ねじなどの紛失防止のため)
※パッキンをなくさないでください。
- ①フィルターをフィルターケースから外す。
 - ②フィルターケース中央にある固定用ねじを⓪ドライバーで左に回して、金具が外れない程度にゆるめる。(右図)
 - ③フィルターケースにパッキンをはめ、そのまま下部循環口に奥まで差し込む。
 - ④ゆるめた固定用ねじを、フィルターケースが容易に動かなくなるまで右に回し込む。(締めすぎると下部循環口側が破損するおそれがありますので、ご注意ください)
 - ⑤フィルターを元どおり取り付ける。



(つづく)

あんしん点検について

定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。点検はお買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご相談ください。

機器の長期間ご使用時の「あんしん点検」(有料)のおすすめ

本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

あんしん点検について

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客様の任意で受けていただく有料の点検です。
(法定点検ではありません)
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- 点検の実施は、当社または当社サービス会社の点検担当員が行います。
- 点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
(例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- 点検終了後、現時点での診断結果を総合判定としてご説明いたします。
点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客様にご了解をいただいた上で行います。

【点検料金について】

- 点検は有料で実施させていただきます。点検料金は、出張料、技術料などを合計した金額となります。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。

なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.housetec.co.jp/support/inspection.html>

【点検を依頼される時】

- 「あんしん点検」(有料・任意点検)については下記までお問い合わせください。

ハウステック点検相談窓口

0120 - 965 - 163 (携帯・PHS 対応)

受付時間：9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土・日・祝祭日、年末年始・夏季休暇日を除く)

故障・異常かな?と思ったら

- リモコン操作編の取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

絵表示の説明

- ① こんなときは(状況)
 - こんなことが考えられます(原因)
 - こうしてください(処置)

リモコン操作編へ リモコン操作編の取扱説明書をご覧ください

お湯・シャワー

① 給湯栓を開いてもお湯が出てこない、お湯にならない

- リモコンに3桁の英数字が点滅していないか確認する。
→点滅していれば、P18「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」を確認し、必要な処置をする。
- ガス栓・給水元栓が全開になっていない。
→ガス栓・給水元栓を全開にする。
- 断水している。
→復旧を待つ。
- ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。
→ガス事業者に連絡する。
- LPガスの場合、ガスがなくなっている。
→他のガス器具が使用できるか確認し、使用できなければガスがなくなっているため、ガス事業者に連絡する。
- 機器の入水部分のフィルターにゴミなどが詰まり、給湯栓から出るお湯の量が減る(1分間に約2.0L以下)と消火するため、お湯になりません。
→P13の方法で水抜き栓のフィルターをお手入れする。
- 凍結している。
→P9「凍結して、お湯や水が出なくなったら」を確認し、必要な処置をする。
- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

② 給湯栓を絞ると水になった

- 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約2.0L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
→異常ではありません。

③ 熱くなったりぬるくなったり温度が安定しない

- 夏場などの水温が高いときは、ぬるいお湯を少量出そうとすると、温度が安定しません。
→給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。

④ お湯がぬるい

- サーモスタット式混合水栓の場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。
→異常ではありません。

⑤ 【エコ機能がある場合】

エコ機能のひかえめ給湯量によってお湯の量が変化したときに、お湯の温度も変化する

- 混合水栓をご使用の場合、水が混ざっている可能性があります。
→異常ではありません。
給湯栓のレバーを完全にお湯側にして使用する。
サーモスタット式混合水栓の場合は、最高温度側にして使用する。
※リモコンの給湯温度は、やけどしない温度に設定してください。

⑥ 給湯栓から出るお湯の量が少ない

- 機器の入水部分のフィルターにゴミなどが詰まっている。
→P13の方法で水抜き栓のフィルターをお手入れする。
- 【エコ機能がある場合】
エコ機能を「入」にすると、給湯量が少なくなります。(ひかえめ給湯量)
→次のいずれかをおこなう。**リモコン操作編へ**
 - ・ エコ機能の設定で、「ひかえめ給湯量」をお好みの量に変更する。
 - ・ エコ機能を「切」にする。エコ機能を「入」にしておきたい場合は、エコ機能の設定で「ひかえめ給湯量」をしない設定にする。

⑦ 【エコ機能がある場合】

エコ機能の設定でひかえめ給湯量を設定しているのに、お湯の量が多い

- 水道の圧力が高い場合は、少量のお湯を出そうとしても、お湯の量が設定湯量より多くなることがあります。
→異常ではありません。
もう少し給湯栓を絞って使用する。

⑧ 給湯栓から出るお湯の量が変化する

- お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動をすると、お湯の量が減る場合があります。
→異常ではありません。
他の場所での使用をやめたり、ふろ自動が終わると、元に戻ります。
- 水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。
→異常ではありません。
- お湯の温度を安定させるため、お湯の出はじめは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。
→異常ではありません。

(つづく)

必要
な
と
き

困
っ
た
と
き

お湯・シャワー(つづき)

? お湯が白くにごって見える

- 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。
→異常ではありません。

? 特定の給湯栓から出るお湯の量が少ない、ぬるい

- 他の給湯栓では問題なくお湯を使用できる場合は、対象の給湯栓が故障している可能性があります。
→対象の給湯栓メーカーに連絡する。

お風呂

? 浴そうに水がないのに追いだきしてしまった

- 空だきにはなりませんので、ご安心ください。浴そうに水がない状態でしばらく追いだきしても、空だき安全装置がはたらいて、空だきになる前に機器が停止します。
→故障表示「632」を表示した場合は、運転スイッチを「切」「入」すれば、故障表示は消えます。

? お湯はりのはじめに水が出る

- 配管内にたまっていたお湯がさめて、お湯はりのはじめに出る場合があります。
→異常ではありません。

? 沸かしはじめに、浴そうの循環口から「ポコ、ポコ」と空気の出る音がある

- お風呂の配管などにたまった空気が出る音です。
→異常ではありません。

? 浴そうの循環口からお湯が出たり止まったりする

- ふろ自動スイッチを「入」にすると、残り湯の量を確認するためにポンプが作動し、しばらくは循環口からお湯が出たり止まったりします。
→異常ではありません。

? ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅いお湯はり(ふろ自動、たし湯)が途中で停止した

- ふろ自動と給湯を同時に使うと、給湯側のお湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、沸き上がりが遅くなったり、お湯はりが途中で停止したりします。
→異常ではありません。
お湯はりを中断しないように変更できます。
リモコン操作編へ ユーザー設定の番号12の設定を変更する。

? お風呂のお湯がぬるい、お風呂のお湯が熱い

- 浴そうの下部循環口のフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 浴そうの下部循環口のフィルターが確実に取り付けられていない。
→P13の方法で確実に取り付ける。

? 設定したふろ温度どおりに沸き上がらない

- 浴そうの上部循環口の湯止めキャップが確実に取り付けられていない。
→P8の方法で確実に取り付ける。

? 設定したふろ湯量どおりに沸き上がらなくなった

- 浴そうの下部循環口のフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 【エコ機能がある場合】
エコ機能を「入」にすると、リモコンのふろ湯量表示はそのまま、少しひかえめにお湯はりします。(ひかえめお湯はり)
→**リモコン操作編へ** エコ機能を「切」にする。エコ機能を「入」にしておきたい場合は、エコ機能の設定で「ひかえめお湯はり」をしない設定にする。
- 残り湯をふろ自動で沸かし直すと、設定した湯量どおりになりません。
→**リモコン操作編へ** 「残り湯を沸かし直す」の自動タイプの項目を確認する。

? ふろ自動の沸き上がりが遅い

- 【エコ機能がある場合】
エコ機能を「入」にすると、省エネ優先でふろ自動をします(エコふろ自動)。湯量や燃焼量を抑えながら沸かすため、沸き上がりが通常よりも遅くなる場合があります。
→**リモコン操作編へ** エコ機能を「切」にする。エコ機能を「入」にしておきたい場合は、エコ機能の設定で「エコふろ自動」をしない設定にする。

? 追いだきしてもふろ温度が上がらない

- 浴室リモコンのユーザー設定でふろ温度の上限を設定している。
→**リモコン操作編へ** ユーザー設定の内容を確認する。
- 浴室リモコンでは、安全上、追いだきスイッチをくりかえし押ししても、設定温度+3℃(設定温度45℃以上の場合は約48℃)を上限に追いだきするしくみになっています。
→異常ではありません。

? 追いだきができない、追いだきが途中で停止した

- 浴そうの下部循環口のフィルターに、ゴミや毛髪などが詰まっている。
→P13の方法でお手入れする。
- 断水している。(断水すると、浴そうにためている水が機器に逆流するのを防ぐために、残り湯の追いだきはできないしくみになっています)
→復旧を待つ。

? 追いだき時、浴そうの循環口から出るお湯の温度が変化する

- しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。
→異常ではありません。

? おふろを使用していないのに浴そうの循環口からお湯(水)が出る

- 凍結予防のためポンプが作動し、配管に残っている水が循環口から出る場合があります。
→異常ではありません。

機器全般

? 機器から水漏れしている

- 【ドレン配管から水が出ている場合】
機器内に発生した凝縮水をドレン配管から排出します。(最大100mL/分程度)
→異常ではありません。
- 【過圧防止安全装置(水抜き栓)から水が出ている場合】
機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。
→異常ではありません。

? 排気口から湯気(白い煙のようなもの)が出る

- この機器で排出される燃焼ガスは温度が低く、水分を多く含んでいるため、外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。
→異常ではありません。

? 使用していないのに音がする

- 【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】
【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】
再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
→異常ではありません。
- 【機器からウーンという音がする場合】
ポンプが自動的に作動する音です。
 - 追いだき終了後(お湯を混ぜるため)
 - ふろ予約時の予約時刻1~2時間前(残り湯チェックのため)
 - 気温が低いとき(凍結予防のため)
 →異常ではありません。

? 水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した

- 水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴そうや洗面台が青く着色することがあります。
→こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>

●不具合が生じたときや、お客様へのお知らせが必要なときに、リモコンに故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。

お客様で対処できるもの		■：原因	→：処置
002	<ul style="list-style-type: none"> 初めてふろ自動するとき、浴そうに試運転時の水などが残っていた →①再度ふろ自動スイッチを押す。(故障表示消灯) ②次回ふろ自動をするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなう。(それ以降は残り湯があってもふろ自動できます) 		
011	<ul style="list-style-type: none"> 連続60分以上給湯した →①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。 		
012	<ul style="list-style-type: none"> 連続90分以上追いだきした →①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ②浴そうのお湯の温度が高温になっている場合は、安全のため点検を受ける。 		
032	<ul style="list-style-type: none"> 浴そうの排水栓の閉め忘れまたは下部循環口のフィルターの詰まり ※リモコンの音声「おふろの栓を確認してください」でもお知らせします。 →①浴そうの排水栓が閉まっていることを確認する。排水栓にゴミ、異物などが挟まっているか確認し、挟まっていれば取り除く。 ②下部循環口のフィルターが詰まっていないか確認し、詰まっていれば掃除する。 ③下部循環口のフィルターが正しく取り付けられているか確認し、取り付けられていなければ正しく取り付ける。 ④再度ふろ自動をして、表示・音声が出なければ正常。 		
111 112	<ul style="list-style-type: none"> 【111】給湯側の点火エラー 【112】ふろ側の点火エラー →①運転スイッチを「切」にする。 ②以下の事項を確認して問題があれば処置する。 <ul style="list-style-type: none"> ●ガス栓が開いていなければ、きっちり止まるまで開ける。 ●ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していたら、ガス事業者に連絡する。 ●LPガスがなくなっていたら(他のガス器具が使用できなかったら)、ガス事業者に連絡する。 ③【111】運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。 【112】運転スイッチを「入」にし、追いだきスイッチを「入」にして表示が出なければ正常。 		

290	<ul style="list-style-type: none"> ドレン配管の異物詰まりや凍結により、機器内に発生した凝縮水が排出できなくなっている →①ドレン配管の先にゴミなどが詰まっていないか確認し、ゴミなどが詰まっていれば取り除く。(P12) ②冬場寒いときは、ドレン配管が凍結している可能性があるため、気温が上昇して自然解凍するのを待つ。 ③その後運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常。 <p>※上記に該当しない場合や上記の処置をしてもなお故障表示をくりかえすときは、機器内の中和装置に詰まりが発生しているなどの原因が考えられます。また、冬場寒いときに故障表示が何度も出るような場合は、ドレン配管の凍結予防処置(有料)が必要な場合があります。お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご相談ください。</p>
562	<ul style="list-style-type: none"> 断水などで水が通っていない(ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水の時) →①給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認する。 ②運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再度「入」にして使用する。
632	<ul style="list-style-type: none"> おふろの追いだきのとき、浴そうのお湯(水)が足りない →①運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ②浴そうの上部循環口の上までお湯(水)を入れてから追いだきをする。 <p>■下部循環口のフィルターが詰まっているか、正常に取り付けられていない</p> <p>→①下部循環口のフィルターを確認する。(詰まっていないか、正常に取り付けられているか)</p> <p>②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。</p>
900 901 902	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼に異常が生じた →運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 <p>※上記の処置をしても故障表示が消えない、または処置をしても表示がくりかえし出る場合は、修理を依頼してください。</p>

**お買い求めの販売店
または、もよりの当社
窓口にご連絡が必要です**

■：原因 →：処置

101 ■ 給排気に異常が生じ、安全のために能力を低下さ
102 せている
→機器は使用できますが、安全のため点検を受け
てください。

920 ■ 中和器の寿命のため交換が必要
→しばらくすると使用できなくなりますので、す
ぐにお買い求めの販売店または、もよりの当社
窓口にご連絡ください。

991 ■ 燃焼に異常が生じた
992 →機器は使用できません。お買い求めの販売店ま
たは、もよりの当社窓口にご連絡ください。

・「お客様で対処できるもの」以外の表 ➡お買い求めの
示が出る時 販売店または、
・「お客様で対処できるもの」の処置を もよりの当社窓
しても、表示がくりかえし出るとき 口にご連絡くだ
・その他、わからないとき さい。

主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。ただし、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- 使用ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

		24号	20号	16号
製品名		KZ-S244SA-1-BL	KZ-S204SA-1-BL	KZ-S164SA-1-BL
型式名		KZ-S244SA	KZ-S204SA	KZ-S164SA
設置方式		屋外設置形		
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.2~0.5(約2.0~5.0kgf/cm ²) >		
	最低作動水圧〈kPa〉	10(0.1kgf/cm ²)		
最低作動流量	〈L/分〉	2.0		
外形寸法	〈mm〉	高さ638×幅539×奥行240		
質量(本体)	〈kg〉	28.5		
接続	循環パイプ	φ45(ゴム接続)		
	給湯・給水	R3/4		R1/2
	ガス	都市ガス…R3/4	LPガス…R1/2	R1/2
	ドレン排出	R1/2		
電源		AC100V(50/60Hz)		
消費電力(50/60Hz)〈kW〉		90/90	75/75	
	待機時消費電力	0.8		
	凍結予防ヒーター	131		

能力表

24号

使用ガス		ガス消費量(最大消費量) 〈kW〉			出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
		給湯・ふろ同時使用	給湯	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	55.7	44.1	11.6	24	15
	12A	51.9	41.1	10.8	22.5	14
LPガス		55.7	44.1	11.6	24	15

20号

使用ガス		ガス消費量(最大消費量) 〈kW〉			出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
		給湯・ふろ同時使用	給湯	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	47.8	36.7	11.6	20	12.5
	12A	44.4	34.2	10.8	18.5	11.5
LPガス		47.8	36.7	11.6	20	12.5

16号

使用ガス		ガス消費量(最大消費量) 〈kW〉			出湯能力(最大時) 〈L/分〉	
		給湯・ふろ同時使用	給湯	ふろ	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	38.1	29.4	11.6	16	10
	12A	35.5	27.3	10.8	15	9.5
L P	ガス	38.1	29.4	11.6	16	10

アフターサービスについて

サービスを依頼される時

P15「故障・異常かな?と思ったら」、P18「リモコンに3桁の英数字が点滅しているとき<故障表示>」と、リモコン操作編の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご連絡ください。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

連絡して
いただき
たい内容

- 製品名(機器に貼り付けてある銘板(P2)をご覧ください)
- お買い上げ日(保証書をご覧ください)
- 異常の状況(故障表示など、できるだけくわしく)
- ご住所、ご氏名、電話番号
- 訪問ご希望日

修理料金
のしくみ

修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。

- ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
- ②修理に使用した部品代金です。
- ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設される時は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、お買い求めの販売店または、もよりの当社窓口にご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。(BLマーク)

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。



●お客様サポートのご案内 当社への各種お問い合わせに関しては、下記の二次元コードからアクセスすると便利です。

■ハウステック商品のお問い合わせ

主なお問い合わせ内容

- 商品の性能や使用方法、お手入れについてのご質問
- ショールームや営業所のご案内
- 商品のトラブル・不具合についての対応

■住宅設備機器長期保証制度のお申込み

- 追加の保証料をお支払いいただくことにより、メーカー保証期間を最長6年もしくは10年に延長する制度です。

■修理のご依頼

- ハウステックの修理のご依頼は24時間・365日受付。
- 浴室・トイレ、調理機器や給湯器などの修理の受付は、年中無休24時間うけたまわっております。
- アフターパーツ・オプション品のご用命
- 今お使いの機器の消耗品や、ワンランク上のグレードにする便利な部品を注文することができます。

<https://www.housetec.co.jp/support/>



ハウステックお客様サポート Q

お電話でのお問い合わせは下記にてうけたまわっております。電話混雑時には繋がりにくいため、上記web画面(お客様サポート)からのご利用をおすすめいたします。

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)

個人のお客様

0120-801-761

※携帯電話の場合 **0570-001-761** (有料)

販売・施工など業者様

0570-071-761 (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:00 (12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様

0120-102-471

※携帯電話の場合 **0570-002-471** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-471 (有料)

●受付時間 365日 24時間
(修理訪問は日中、地域により休日あり)

補修部品のご購入は(代引き販売窓口)

個人のお客様

0120-455-621

※携帯電話の場合 **0570-002-621** (有料)

販売・施工など業者様

0570-022-350 (有料)

●受付時間 平日 9:00～17:00 (12:00～13:00を除く)
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

※補修部品の交換は専門知識が必要のため、ご購入可能な補修部品は、専門知識を要せず、工具を使わない部品のみを対象としています。修理のご依頼は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

保証書

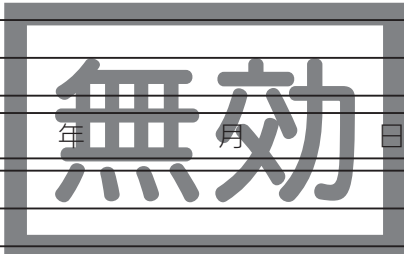
型式	KZ-S244SA	KZ-S204SA	KZ-S164SA
----	-----------	-----------	-----------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、「お客様サポートのご案内」に記載の当社窓口にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 住宅用途以外(業務用:喫茶店、飲食店など)でご使用になられた場合による故障および損傷。
 - (ロ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じる故障および損傷。
 - (ハ) 工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - (ニ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
 - (ヘ) 適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ト) 電気、ガス、給水の供給事情および給水・給湯配管の錆など異物混入による故障および損傷。
 - (チ) 指定規格以外のガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で使用された場合。
 - (リ) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - (ヌ) 海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性のガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
 - (ル) 温泉水、井戸水など水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによる故障および損傷。
 - (ヲ) ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
 - (ワ) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
 - (カ) 熱量変更に伴う改造・調整の場合。
 - (ヨ) 本書の提示がない場合。
 - (タ) 本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お客様	お名前	TEL
	ご住所〒	
保証期間	お買い上げ	年 月 日から2年間(熱交換器:3年)
販売店	店名	TEL
	住所〒	



※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください

年月日	修理記録(修理内容)	サービス員 (印)